

fumfum Home Concert 33

Suzuki Takagi

Yui Konishi

～高木修一+金谷優里
トロンボット・コンサートの巻～

2013/12/15 (日)

14:00開演 13:30開場

fumfum サロン(金谷宅)

入場料1,000円(当日1,200円)

(中学生未満はいずれも500円)

※要予約

program

アルチュニアン:トロンボット協奏曲

エネスコ:伝説

加古隆:「大河の一滴」メイン・テーマ

他

演奏当日が変更にならる場合がございます。あらかじめご了承ください。



お問い合わせ fumfum Home Concert企画係

TEL:080-3780-7954

E-mail: fumfumconcert@yahoo.co.jp

<http://fumpiano.web.fc2.com/>

東大阪ピアノ教室 fumfum

検索



Facebookページもできました!

【ふむふむ(fumfum)】

<https://www.facebook.com/fumfumsince2009>

高木修一 トロンボット

福井県敦賀市出身。中学からトロンボットを始める。トロンボットを鈴木勝久、宮村聡、秋月孝之各氏に師事。中学時代は持ち上げられて楽しかったが、高校でスランプに陥りすっかり自信を無くす。よくあることである。吹奏楽部に所属していたが楽音を始めたころからオーケストラに入りたいたいと熱望しており、大学に入り念願のオーケストラに入る。大学を二つ渡り歩き、自分の下手さに悩みながらもオーケストラを存分に楽しむ。社会人になり楽音を全く触っていない時期を経て、現在も音楽を続けています。現在はアマチュアオーケストラのエキストラ出演や病院や施設でのソロコンサートを行っている。

私はトロンボットで何を伝えたいのだからと思うことがある。トロンボットを音楽と言いつてもよい。前はこう考えていたように思う。祈りや癒し、温かき、豊潤さ、力強さ、あるいは嵐高、悲しみ、怒り、などではないかと。またはこうも考えた。先にあげたようなものではなくて、もっと手前の言葉に置き換えられない、なにか、わーっ、とか、うーっ、とかさういう体の感から湧き上がったくる何かではないかと。実際それはありがたいことに伝わっていることがあるように思う。今は、このようなことやこいしことはあまり考えないようになった。ただ、楽しむ。楽しむ。音がひっくり返っても、失敗しても、楽しむ。ややこしいことを考えても考えなくても、楽しむ。そして、聴いてくださる方とともに楽しむ。ほぼその一点(二点かも)しれないが、に集約されると思っっている。だから、伝える、というより、楽しさが自然と伝わると思っっている。そして、自分を含めてみんなによい時間が流れればよいと思っっている。自分が好きな楽音や曲とともに。

